

組合員、生産者、ワーカーズ・コレクティブ、職員が一丸となって!

今から34年前、1984年の総代会で「組合員の暮らしに添える生協を、地域独自の構想によるストックポイントづくりで実現させよう! その担い手として組合員自らが登場し、自主管理を目指していこう」という方針のもと、各地域で「自分たちが欲しいストックポイント」のあり方を議論しました。その結果、生協をより活用できる自主事業が各地域ごとにスタートしました。

店舗「城山台Do」もストックポイント活動のひとつとして生まれたもので、今秋店内をリニューアルするとともに組合員ワーカーズに運営を委託することになりました。

(書き手:店舗事業担当常務理事 桐田 剛至)



店舗城山台Doスタッフ一同
前列中央がワーカーズ・コレクティブ「WITH」の代表理事、田中純子さん

エスコープ大阪で 唯一の店舗です

ストックポイント活動として、店舗の「D O」「りき」「あおば」「サン」、班への週2回目の配達便の「STEP」「ファント」「かぐや姫」、個人配達の「さつき野」という7つの个性的なストックポイントが開設されました。その第1号と

して1985年に開設されたのがストックポイント「光明池D O」(和泉市伏屋町)で、野菜や日配生鮮品の簡易店舗としてスタートしました。その後、地域の自主事業から職員管理の事業として運営主体を変え、2008年には城山台近隣センターへ移転して現在の店舗「城山台D O」(以下、D O)(堺市南区)となりました。

移転10周年を迎えた今年8月、大幅なリニューアル工事を実施し、冷凍・冷蔵庫、陳列棚などを新しく導入。床を張替え、レイアウトを大きく変更して組合員とのコミュニケーションの場となるよう試食キッチンを設置しました。今後は組合員同士や生産者と交流ができるスペースとしてどんどん活用していきたいと考えています。

新たなスタートで 心機一転がんばります

職員が管理を担っていた店舗事業の運営を組合員へ戻す方法を検討し、すめてきました。具体的には、店舗地域委員会を設立し、店舗事業の運営をワーカー

ズ・コレクティブ(以下、ワーカーズ)に委託することです。エスコープ大阪で最初に生まれたワーカーズは、前記のストックポイント活動を市民事業化し、生協の個人配達をおこなう団体でした。今回委託を受けてD Oを運営するのは堺市でエスコープ大阪の個人配達をおこなっていた「ワーカーズ・コレクティブWITH」(以下、WITH)で、1996年に設立され今年で22年になります。20代から60代までの明るく元気な女性スタッフ15名で組織されています。個人配達業務で培った経験と元気がいっぱい笑顔で、2018年9月21日より生まれ変わったD Oの運営を開始しています。



単なる店舗機能だけではない 取り組みを目指して

高齢化がすすむ地域にとって「必要不可欠な生協の店」であり続けられるように、WITHの個人配達業務の経験を生かし、店舗を拠点にした配達サービスなどをすすめることができないかと、店舗地域委員会と定期的に協議の場を持っています。また、これまでに以上に店舗組合員の意見を積極的に吸い上げ、店舗運営に生かしていきたいと考えています。ストックポイント活動から続いているD Oは、組合員が運営し利用するお店です。店員とお客様の関係として「いらつしやいませ」「ありがとうございました」ではなく、組合員同士の「こんにちは」「何か

提案はありませんか」と言い合える関係を目指しています。

大きな夢を持って さまざまな取り組みに挑戦!

組合員から預かった大切な店舗を、より良いものとするのを常に考え、「元氣」「やる氣」「勇氣」、3つの氣合いと笑顔でD Oを盛り上げていきたいです!! 大きな夢に向かって、組合員がたくさん集い、消費材のことや、地域のことなどさまざまな話が飛び交い、情報交換の場となる店舗にしていきたいと考えています。まずは交流の場として「試食キッチン」を使って、試食会はもちろん生産者との交流会などもおこなってきたいと考えています。まだまだスタートしたばかりで日常業務をこなすことで必死ですが、今後は宅配サービスや移動店舗などの取り組みも検討していきたいと思います。今後ともご協力をよろしく願います。

ワーカーズ・コレクティブ WITH
代表理事 田中 純子

エスコープ
大阪のお店

店舗「城山台Do」

カタログに載っている消費材を中心に店舗独自品も取り扱っています。いろいろなイベントもあります。ぜひご来店ください。

●場所:堺市南区城山台2-2-9
(城山台近隣センター)

●営業時間: 月~金・祝日/11:00~19:00
土・日/11:00~18:00

※年始のみ休み。

※ご利用の際は組合員証を提示してください。

宅老所よりあい訪問報告

訪問先



①宅老所よりあい
認知症対応型通所介護
福岡市中央区地行1-15-14



②第2宅老所よりあい
認知症対応型通所介護
福岡市南区松原2-23-14



③特別養護老人ホーム
よりあいの森
地域密着型介護老人福祉施設
福岡市城南区別府7丁目9-21

昨年度、エスコープ大阪では第6次中期計画を策定し、終の棲家や地域拠点づくりを検討することになりました。そこで、これまでのエスコープ大阪の福祉活動や事業をふり返るために、8月28日(火)・29日(水)の2日間、エスコープ大阪の福祉を考えるときの手本となった、福岡市にある「社会福祉法人 福岡ひかり福祉会」が運営する「宅老所よりあい」(以下、よりあい)と他2施設を訪問しました。理事、エスコープ大阪サポートセンター職員、たすけあい事業推進フロア職員のほか、私たちの福祉活動・事業のパートナーである福祉ワーカーズ・コレクティブからも参加を募り、計8名で訪ねました。

当たり前前のごときを、 当たり前前にできる生活を

閑静な住宅街にあるよりあい(認知症対応型通所介護)では、利用者も、スタッフもみんなくつろいだ雰囲気、ゆったりとした時間が流れていました。

よりあいでは、「当たり前前の願いや、日常自宅の生活でしていることができるように支援する」という設立当初からの理念が、27年経った今も引き継がれていて、日課が決まっています。スタッフのスキルもそれぞれ違ひ、利用者の体調も日々違ひるので、その日の朝にスタッフが利用者本人と相談して決めるという方法をとっています。よりあいでは「温かい家庭料理が食べられる」「何もしたくなかったら何もしない」「トイレも自分のリズムで行く」というのは当たり前前のことですが、一般的な施設ではそうはいきません。また、認知症特有の症状として利用者が徘徊しそうな時はスタッフと一緒にドライブに行くなど個別に対応し、何事も利用者ファーストでした。



よりあいで働くスタッフと意見交換しました

地域も含めた 暮らし全体をサポート

よりあいでは、在宅を基本とした支援をおこなっていて、本人と家族だけでなく地域も含めた暮らし全体をサポートしています。常に地域の人も目を向け、困ったの声に対応しているそうです。

在宅で認知症介護を継続するには家族の休息も必要です。家族からSOSがあれば介護保険制度外のよりあい独自のサービスとして

通い慣れたよりあいで泊まることもできます。

さらに在宅介護が困難になった場合は、よりあいで過ごすのと同じような支援をしている「特別養護老人ホーム よりあいの森」(以下、よりあいの森)へ入所します。入所準備としてショートステイを利用し、家族と利用者がともに安心して入所できるようにもしています。

高齢で地域開催の茶話会に行けなくなった人のために、送迎付きで月1回よりあいの森で茶話会をおこなっています。近隣の人を招いての祭りやマルシェも開催し、日頃から地域の人が顔を合わせる場所を提供しています。地域の人からは「何かあってもよりあいが助けてくれる。よりあいがあって良かった」と言われています。



よりあいの森に隣接する
地域交流スペース

訪問してこれから

介護保険制度は利用者個々の状態に対応できる制度となっており、軽度の方には身体機能の向上をすすめています。しかし、年を重ねると機能が低下するのは自然なことで、低下を遅らせることしかできません。かといって事業を継続させるには、国の制度に沿っていかなくてはなりません。

この訪問をもとに、エスコープ大阪の福祉をどうしていくのかをこれから考えていきます。よりあいの代表の村瀬さんが「これからの福祉を考えると、協同組合という形がいいのかも」と言われていました。私たちには、地域住民だけでなく、多くの組合員がいます。ぜひ、エスコープ大阪全員でエスコープ大阪らしい福祉をすすめていきたいと思っています。

エスコープ大阪の福祉のあゆみ

1970年	泉北生活協同組合(現・生活協同組合エスコープ大阪)設立
1984年	大型班25人班専任当番の登場
1986年	地域の拠点づくり開始 店市、生鮮便、個人配達6カ所
	組合員の有志による、たすけあい「ネットワーク」誕生
1994年	個人配達ワーカーズ・コレクティブ、弁当・総菜企業組合「エル25」誕生
1995年	阪神・淡路大震災 救援ボランティア活動に取り組む
1996年	「福祉元年」と位置づけ、福祉出前学習会を開催し、福祉ワーカーズ・コレクティブ設立準備会を立ち上げる
1997年	ヘルパー養成講座開講、福祉ワーカーズ・コレクティブ誕生
1999年	福祉ワーカーズ「はんど」がミニデイサービス開始
2000年	「よりあい金剛」(富田林市寺池台)誕生 介護保険事業居宅・訪問介護サービス事業所「エスコープ大阪サポートセンター」(SOS)泉北・金剛開所
2001年	エスコープ大阪福祉事業として介護保険対応デイサービス施設「よりあい金剛」(富田林市寺池台)開所
2003年	「よりあい金剛」は富田林市久野喜台へ移転
2004年	SOS泉北が障がい者支援サービス開始 「SOS河内長野」開所
2005年	組合員交流施設「風来里」(ふらり)開室 障がい者のデイサービス施設「ピースハ田西」(堺市)開所
2006年	「SOS和泉・岸和田」開所(2007年8月開所)
2008年	障がい者のデイサービス施設「ピース光明池」開所
2009年	障がい児の放課後等デイサービス施設「グリーンピース八田西」開所
2010年	「SOSケアピース」(堺市茶山台)開所 子育てひろば開設
2012年	「ピース相談支援センター中區」(堺市)開所(2016年3月閉所)
	「生活クラブ共済ハグくみ」開始
2015年	「エスコロ制度」開始
2017年	デイサービス「よりあい金剛」の運営を「NPO法人 ワーカーズ・コレクティブはんど」に移管

環境委員会

「おだやかな革命」
自主上映会

10月13日(土)
岸和田市立浪切ホール
小ホール
(岸和田市港緑町)

南河内地域理事 梶川 愛

おだやかに始まる私たちの革命



組合員とその家族総勢96名
が参加し、映画「おだやかな革命」を鑑賞しました。この映画は、「成長」と「拡大」を求め続けてきた現代社会が見失いがちな「自然」と向き合い、「人」と向き合い、「地域」と向き合いながら、懐かしくも新しいこれからの時代の豊かな暮らしを、自らの手で作っていくとする人たちが登場します。自分の今の暮らしや生き方そのものについて、ふと立ち止まり考えさせてくれる内容でした。都市生活者、地方への移住者、被災者それぞれが、エネルギーの自治を目指すことで、お金やモノだけでない、生きがいや喜びに満ちた本当の豊かな暮らしが生まれていく姿に胸を打たれました。

終了後に出口でアンケートを集めながらたくさんの方の感想を耳にし、参加者の皆さんと自然エネルギーの新たな可能性と、自分でもできることに取

り組みたいという思いを共感できたことに感激しました。

アンケートには、「いつの時代もこれからも、いい空気ときれいな水と肥沃な大地は宝物。それを守っていくためには、真っ先に自分の暮らしを見直していく必要があると思います」「希望が感じられるこの映画をもっとたくさんの人に観てほしい!」「理想の暮らしを実現しているような映画だった。循環させていかないとこれからの時代は回らないと常々思う」「自然と共生する暮らしがうらやましかった。自然は人間に限りのアイデアをくれる。そこに気づけるかが現代人の課題!」などの声が寄せられました。

生活クラブには自然エネルギー由来の電力を選ぶという選択肢がすでにあり、私たちはそれを選ぶことができます。自然エネルギー100%を目指す「生活クラブでんき」に切り替えることが未来の環境を思いやる取り組みへの一歩となります。ぜひ、皆さん「生活クラブでんき」を選択してください。

生活クラブには自然エネルギー由来の電力を選ぶという選択肢がすでにあり、私たちはそれを選ぶことができます。自然エネルギー100%を目指す「生活クラブでんき」に切り替えることが未来の環境を思いやる取り組みへの一歩となります。ぜひ、皆さん「生活クラブでんき」を選択してください。

薪をくべ、鰹に魂を込めています

節と味が違うのかを知りたくて、今回の見学に臨みました。

かつお節は和食のだし作りに欠かせません。今回訪問した山彦鰹節は生の鰹から節作り、削り加工まで一貫して製造する、今では非常に希少な生産者です。ガス火で短期間に乾燥させる一般的な工場とは違い、火加減を見ながら広葉樹の薪(1日あたり2トン使用)を自分たちでくべ続け、積み上げた鰹を均一に煙で燻すため上下を入れ替えながら10日間かけてゆっ

泉北ニュータウン地域

9月豚肉利用推進月間
「ベーコン作り」

9月18日(火)
エスコープ大阪本部
(堺市南区小代)

泉北ニュータウン地域理事
庄野 明子

「本当の豚肉のおいしさ」を
ベー「ン」で

「(株)ウインナークラブ」設立30周年を記念し、9月の豚肉利用推進月間に「ベーコン作り」を開催し、ベテラン組合員2名が参加しました。

エスコープ大阪には「ベーコン鍋」というスモーク専用鍋があり、かつて盛んに豚肉学習会が開かれていた頃のままだ、今なお現役で活躍しています。ベーコン作りは、鍋底にスモークチップとお砂糖を敷き、豚バラブロック肉をのせた網をセットして火にかけ40〜60分燻すだけ。できるだけフタを開けないことがコツです。

ベーコンができるまで、豚スライス肉で作った「いんげんの肉巻き」・「牡蠣あじご飯」でランチをしながら、エスコープ大阪が泉北生協だった頃の組合員たちが、豚肉加工会社ウインナークラブを設立するに至ったエピソードを話しました。豚を飼育



ベーコンは、おうちの鍋をアルミホイルでくるんで作れますので、ぜひ作ってみてください。スモークチップは配達担当者に注文してください。紅茶や緑茶の茶葉でも代用できます。

くり乾燥させます。カビ付けと天日干しの作業には45日かけており、味を守るために昔ながらの製法にこだわって作っていました。

参加した組合員は新加入者も多く、ひとつひとつの作業の大変さに驚嘆し、「ぜひ利用したい」と言っていました。私の好きな消費材「パックだし」について、社長の山下さんが「山彦鰹節のは生活クラブの提携生産者の消費材をブレンドして製造しているが、市販品は原料にこだわらないため良い味が出ず、化学調味料を足すことで製品にしているものが大半」と説明されていました。私は市販品の包装に

している「(有)石井養豚センター」では遺伝子組み換えしていない飼料を選び、肉質や食味を良くするために飼料に米を加えたり、不要な抗生物質を使わずに育つよう清潔な飼育環境にもこだわって、いかに豚にストレスを与えないよう大切に飼育しているか、などを伝えました。

参加者からは、ウインナークラブ設立当時の組合員が「豚枝肉(半身)の解体学習会」をしてウインナークラブの豚肉の良さをみんなに伝えてきたことや、「豚肉の分け合い」で豚肉を利用した思い出を伺いました。「いつまでもこの豚肉を食べ続けていきたいので、これからも注文します」と話されていました。

用できます。

ある鰹の絵に惑わされていました。

今回の訪問で、製造に多くの時間がかかることや作り手の信念を知り、消費することで昔ながらの製法を次の世代にもつないでいこうと思いました。また、日頃は個人配達で利用しているため他の組合員と知り合いになることがないので、見学しながらいろいろな話ができてとても楽しかったです。



紹介します!!
うちの地域の
組合員さんです

パートナー活動を
楽しんでます

白谷 佳子さん
[店舗地域]



豚ブロック肉を持参して、みんなにお持ち帰りしてもらい、それがきっかけでエスコープ大阪に加入した友人もいるそうです。「娘たちもバーベキューにはいつもウインナークラブのウインナーを持っていくのよ」と、笑いながら話していました。

エスコープ大阪に加入したのは30年近く前。庭代台に店舗「サン」ができた頃です。最近では、料理好きがこうじて1年半の間、消費委員会作成の『豚肉料理百選』スライス編の試作チームに参加されました。

消費材の質の良さに驚き、幼い子どもを連れて豚の解体学習会に行ったり、みそ作りに参加したりするようになり、今でも年に12kgのみそを欠かさず作り続けているそうです。

友人とのバーベキューには必ず

3年前からは店舗地域のパートナーとして活動されています。「活動に参加するまではただ消費材を利用するだけでしたが、今は組合員同士の交流がとても楽しく、いろんな方と知り合えて教えてもらうことも多く、人との輪が広がりました」「これからも自分にできることでエスコープ大阪と店舗のために協力していきたい」と思いを話されました。マクロビオティクにも取り組まれている、食や健康に詳しく、地域委員会にとってとても頼もしい仲間です。

聞き手 谷口 夢子(店舗地域理事)

GO! GO! 第4回
ワーカーズ・コレクティブ

配食W.Co.
キッチンよりあい



2000年頃、富田林市寺池台の民家(現「特定非営利活動法人ふらっとスペース金剛」)で「W.Co.はんど」(現「NPO法人W.Co.はんど」)がミニサービスをしていました。その中で、利用者とスタッフの昼食を作っていたメンバーが、2003年4月、エスコープ大阪が福祉施設よりあい金剛を開設するにあたり、厨房をW.Co.にまかせるとの意向を知り、はんどから独立して「W.Co.キッチンよりあい」を立ち上げました。食材を作っている生産者と料理を作っている人と食べる人の「顔が見

ており、デイサービスがない日の昼食利用や、産後の方からの依頼もあるそうです。はんど経由やチラシを見ての連絡もあるそうです。スタッフの働き方はそれぞれ違いますが、課題を共有し一緒に考え話し合い、運営しています。

代表の辻さんは季節感や利用者さんを大切にこれからもご飯作り、ワーカーズとしての働き方の継承にも力を入れていきたい」と話してくださいました。

※W.Co.ワーカーズ・コレクティブの略。非営利市民事業で、地域に必要なサービスを共同出資して自主運営し、みんなで働く。地域に必要な「コト・モノ」を自ら生み出し、地域貢献の視点をもち、



第5回 理事会報告 <10月3日>

【8月度決算報告】

- 供給高 1億7,522万円(前年同月比107.2%)
- 組合員数 19,471名(前月比43)
- 一人あたりの出資金 78,706円

【9月の放射能検査結果】

9月は連合消費材706検体、エスコープ大阪独自の消費材9検体の放射能検査を実施しました。生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

【決議事項】

- ①大阪府最低賃金の引き上げに伴う「嘱託パート職員賃金規程」の変更について
- ②地域拠点運営規則

【協議事項】

- ①2018年上期活動まとめ(全体)
- ②1月地場野菜取り組みの次年度計画への延期
- ③3月遺伝子組み換え反対運動推進月間の地域取り組み消費材と生産者の決定とスケジュールの修正
- ④店舗消費材の品揃え提案(エスコープ大阪独自取扱消費材)
- ⑤3R全国ネット「3R環境教育教材」の購入
- ⑥拠点づくりの具体的な進め方
- ⑦2018年リフレッシュツアーまとめ
- ⑧エスコープまつり2018(地域推薦の関連団体出店について等)



エッコロ制度 10月度報告 加入者数 1318名

給
付
状
況

組合員活動を支えるためのケア	0件
組合員活動中の共同購入品受け取りケア	0件
加入者本人の入院・通院・在宅療養に伴うケア	3件
加入者家族の入院・通院・在宅療養に伴うケア	0件
加入者本人の産前産後のケア	0件
長期に留守をする時のケア	0件
リフレッシュのためのケア	0件
儀式・行事に伴うケア	0件
高齢の加入者をサポートするケア	18件



エスコープ大阪の子育てひろば

日時	会場
12月12日(水) 10～12時	SAYAKAホール (河内長野・大阪狭山地域)
12月は休み	さつき野東集会所(南河内地域)
10月5日(水) 10～12時	岬町望海坂第1集会所(泉州地域)
10月11日(火) 10～12時	和泉市コミュニティーセンター (泉州地域)
10月4日(火) 10～12時	堺市立青少年の家(泉北NT地域)
＊開催時間内であればいつ来ても、帰ってもOK ＊組合員でないお友達との参加もOK ＊事前申し込みは不要 ＊お茶代100円(大人のみ)をいただきます	

編集後記

収穫の秋も駆け足にすぎ、もう年末がそこまで迫っています。2018年は大きな自然災害が多発し、私たちの生活に大きな影響を与えました。映画「おだやかな革命」の中にもありましたが、自然と向き合い、人と向き合い、地域と向き合いながら、これからの暮らしを作っていく姿を見ると、エスコープ大阪という地域に根差した生協の中で地域再生や電源開発、災害対策など、より地域と結びついた活動をすすめていければと感じました。(K)

発行:生活協同組合エスコープ大阪 制作:W.Co パックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪

〒590-0151 堺市南区小代727

TEL.072-293-4660 FAX.072-341-0022

http://s-osaka.seikatsuclub.coop/

「大きく育て福祉の樹」では、エスコープ大阪の「たすけあい」のしくみ等について紹介しています。今回は、組合員同士のたすけあいのしくみ「エッコロ制度」についてお伝えします。

「ちょっとお願い」、 「はい、どうぞ」と言い合える セーフティネット

エッコロ制度は組合員同士のたすけあいのしくみとして2015年10月にスタートし、3年が経ちました。10月20日現在の加入者数は1,318名、加入率は全組合員の約1割にとどまっています。エッコロ制度を利用したケアはこれまで195件おこなわれましたが、まだまだ十分に活用されているとはいえない状況です。



「高齢の加入者をサポートするケア」が一番利用されています

「エッコロ制度は子どもの見守りなど若い人が使うものだから関係ないと思って

いたわ」と、組合員の方から聞いたことがあります。しかし、実際は「高齢の加入者(65歳以上)をサポートするケア」が一番利用されています。内容は、庭の草取り、粗大ごみの移動、買い物の付き添い、すだれの取り付けなどです。次に多いのは「加入者本人の入院・通院・在宅療養に伴うケア」で、病院の付き添いや、弁当を買って届けたなど、年齢に関らず利用されています。「こんなことお願いしたら迷惑かな…」とお願いするのを遠慮してしまいがちなことでも、困ったときに「ちょっとお願い」「頼まれたときは」「はい、ど

うぞ」と言い合えるのがエッコロ制度です。『エッコロガイドブック』に載っている範囲なら、どんどん活用してください。

何かあったらお願いね

福祉委員会では、ご近所の組合員が集まってエッコロ制度について話す「おうちでエッコロカフェ」をおこなっています。おうちでエッコロカフェでは、「こんなことがあったけれど、エッコロケアを利用できたかな?」「声をかけてくれたら、手伝いに行ったのに…」というようなやり取りがあったり、「今度何かあったらお願いね」と参加者同士で連絡先を交換されたりしてい

ます。今すぐエッコロケアが必要というわけではなくても、何かあったら助けてくれる「エッコロ仲間」が近所にいれば心強いですね。

9月には、私たちの暮らすエリアでも台風による大きな被害が発生しました。その際、行政がインターネットで流した情報が、高齢者やインターネットを利用しない人には届いていなかったということがあります。ご近所同士が顔見知りで、コミュニティーができていたら、情報を交換したり、相談することができたかもしれません。安心して暮らしていくために、エッコロ制度を通じて組合員同士の互助のしくみをつくり、近所や自治体など地域全体に互助のしくみを広げていきたいです。

現在、エッコロ制度をより充実したものにす

るため、制度改定の準備

をすすめています。組

合員みなさんの声を

聞く機会も予定してい

ます。



城山台で開催された
おうちエッコロカフェ

おたよりネット



「りっぷる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

190号3面「私たちのエネルギーを考える!」を読んで

紙面モニター Aさん

以前は、電気料金について無頓着な私でした(省エネの意識はもっていましたが…)。「生活クラブでんき」に加入し、いろいろな情報がわかるようになって、とても勉強になっています。関西電力の料金改定の内情の矛盾を腹立たしく思いながら、これからの「生活クラブでんき」独自の公正な料金体系の確立を期待します。

「生産者とすすめるせっけん運動」

伊藤真理子さん(河内長野・大阪狭山地域)

子どもの誕生を機に『粒状せっけん』を利用するようになり3年目です。2年ほど前、千葉に住んでいた頃に幕張メッセでおこなわれた虹色フェスタ(大試食会)に参加した際に「エスケー石鹸(株)」のブースがあり、生産者からお話を聞きました。せっけんの残りカスに困っていた私にていねいにアドバイスしていただき、いろいろと話すうちに消費材に対する思いが伝わってきました。洗濯の水が川を流れ、海に辿り着き、そこで育った魚を私たちが口にする。そう考えた時「香り」や「白さ」はそんなに重要な? と思います。

キリトリ

Ripple おたよりネット

(ペンネームOK)

●地域名

●お名前

●組合員コード

●班名

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメモで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

理事会事務局行き
191号(2018.11.19)